

HSK なんれん

臨時号

昭和48年1月13日

第三種郵便物認可

HSK通巻第231号

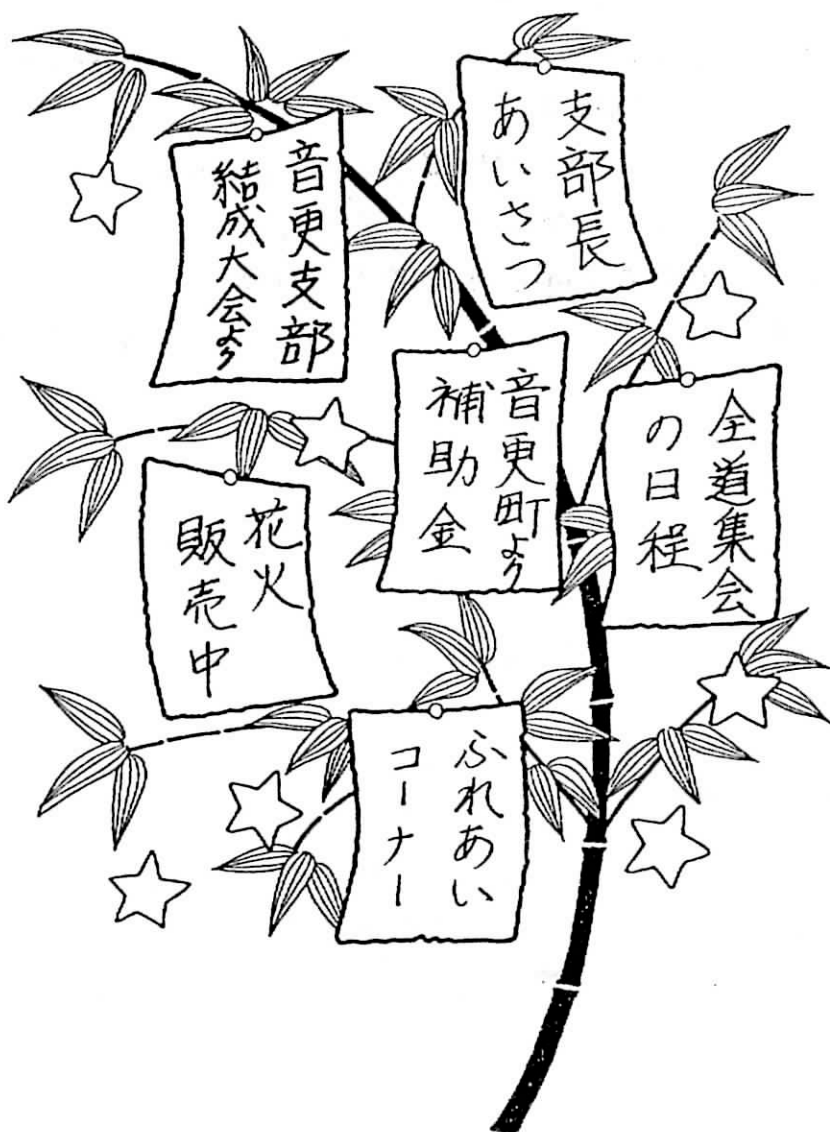
1991年7月10日発行

毎月10日発行(1部100円)

編集 財団法人 北海道難病連

発行 北海道身体障害者団体
定期刊行物協会(HSK)

〈音更支部版〉



音更支部結成大会を終えて

(財)北海道難病連音更支部
支部長 菅系貞助

十勝平野にもいつしか、さわやかな香り高い樹木の繁茂の中に、観光バスの往來が 激しく通う夏本番を迎えました。兼てより準備中の、北海道難病連音更支部結成大会が、6月8日午後1時より、音更町文化センターにて行なわれました。当日は、北海道難病連の伊藤事務局長をはじめ、旭川、釧路、十勝支部の各支部長、全国パーキンソン病北海道支部の役員、十勝管内医療・福祉関係者多数の出席者、オ5区選出の国会議員、道議会議員、十勝支庁長、視覚リハビリをえめる会音更、北海道視覚障害リハビリ協会、道内の患者団体、難病連各支部よりの激励の祝電、メッセージ、御芳志を賜わり、厚く御礼申し上げます。不肖私、支部長の御推選を受けましたが、元より浅学、非ずその器では御座いませんが、その責任の重大さを、痛感するものであります。

現在、世界の中で類を見ない、高度経済成長を続ける日本が、急速な高齢化社会を迎え、やがてすると在宅療養を強いられ、特定疾患、重度身障者が、当然その恩恵に浴すべきなのに、随所に医療福祉の切り捨て、後退が見られます。えは正しく、憲法に保障されている国民はひとしく平等な権利と最低の生活のう後に逆行するものであり、断じて許すことは出来ません。私達は、音更町在住の皆様と共に、相協力して、之を阻止して、華やかな繁栄の谷間で、不偶な身体で、病苦と生活苦に泣く、此の人々を、先づ地元音更より、掘り起こして、次第にその輪を広げて行こうではありませんか。

★ 第18回 難病患者・障害者と
家族の全道集会(とらや)

日程 音更→とらや→札幌→音更 2泊3日 7月27日~29日

7月27日(土) 7:50 音更役場前集合
8:00 出発
↓ 途中昼食
16:00 とらや着
18:00 夕食・交流会 宿泊

7月28日(日) 9:30 分科会
12:00 昼食
12:40 全体集会
15:40 肉会
16:00 とらや出発
19:00 札幌難病センター着 夕食 宿泊

7月29日(月) 10:00 難病センター出発 途中昼食
↓
17:00 音更着の予定

- 参加諸費用
- ①全道集会参加費用(とらや) 大人12,000円
子供(12才未満大人食8,000円)小児(12才未満子供食6,000円)
乳児(食事、布団不要 無料)
 - ②難病センター 宿泊料(最高2,880円 部屋等により異なる
ので、センターで徴収します)
 - ③食事代 27日昼食、28日夕食、29日朝食、昼食

◎貸切バス(拓殖バス)

バス無料(音更町からの補助金と、音更支部で負担)



ぼうしを
忘れずに

◎ボランティア 大谷短大生2人 同乗します。

音更支部結成大会より

(財)北海道難病連

伊藤 たてお事務局長

ご来賓の皆さん、お忙しい所を、おいでいただきまして、大変ありがとうございました。会員の皆さん、今日は大変暑い中、ご参加いただきまして、有りありがとうございました。今、菅原さんのお話にありましたように、ノ昨年この音更の文化センターで、大変大きな集会をさせていただきました。当初いろんな心配がりましたが、音更町、帯広保健所はじめ、管内の関係の皆さんの大変あたたかいご支援によりまして、本当に記憶に残る、すばらしい集会を行なうことが出来ましたこと、あらためて感謝申し上げたいと思います。又、支部結成のいきさつにつきましては、今、菅原さんがお話しされましたように、この十勝管内には、十勝支部という形で、大きく包括した支部がございますけれども、次第にもっと身近な所での集まりといたしますか、そういうものが必要だという声が出ております。又、全道的にもそのような動きになっております。この十勝管内では、新得、本別、池田というような所でも、保健所の力添えなどによりまして、いろんな集まりが行なわれ出ておりますが、そういう動きのノつとして、まず第一に、この音更に支部を作りたいという事で、準備を進めてまいりました。今後、各地を、あるいは保健所単位に、いくつかの支部が出来ると思いますが、すべて十勝支部をノつの要として、地域に患者運動をまきおこす。そして、私達の要求を全面に掲げて、この地域がお年寄や障害者、難病患者にとって住みよいものにしていこう。そういう運動の最先端に立っていくという活動を続けていきたいと、心から思います。先程から、ごらんになっておわかりのように菅原さん、今、大変体調も、よくなって、歩くのがやっとという状況ですし、この音更町の会員さんの中には、かなり多くの方が、むしろ症状の重い方が多いように聞いております。そういう病気や障害の重さにもめげず自分達の障害や病気、それによる体験を前面に出すことこそ、この地域の

医療と福祉を良くする最大の、そして最前の道であるということ
確信して頑張っていたと思います。病気や障害であることを
隠すことなく、むしろその経験を伝えていくという、大事な役割
を担って、この支部が飛足したわけです。北海道難病連25の病气別
の団体、そして17番目の支部になりました。この地域の活動とか、
たてと横に結ばついて、運動を進めていくことになります。支部の
皆さんには今後の活躍を期待しますと共に、管内の関係の皆さんに
も、心からご支援をいただきたく、お願い申し上げます。

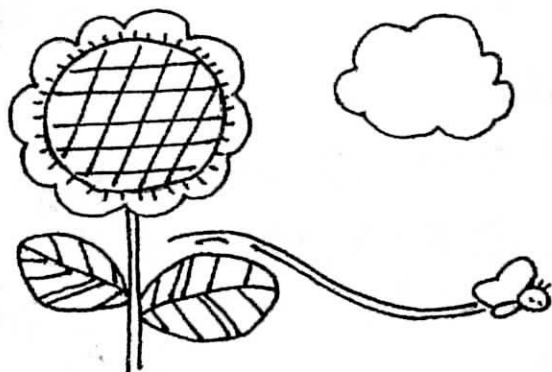
(財)北海道難病連十勝支部 江口美生男支部長

同じ十勝で活動する仲間の1人として、今日は本当に嬉しく思
います。おめでとうございます。

今後は、地域の難病患者に責任をもつということで、大変かと思
いますけれども、きめこまかな活動を期待しております。

又、町づくりの一端を担うということが出来るという意味で、今後
の活動を注目したいと思っております。十勝の他の町村におい
る機会があれば、音更支部のような町村ごとの支部を、作っていき
たいというふうに思っております。その先頭として、りっぱな活動
されるよう期待しております。

共に頑張りましょう





町保健婦さんとのふれあいコーナー

“お元気ですか”音更町保健婦・石原稔恵
急に暑さが加わってまいりましたが、皆様
元気にお過ごしですか？。

日中は“南の島”にワープしたような暑さ
も、朝晩はやっぱり北海道。☁️や🌧️の日は
肌寒ささえ感じます。こんな時期は体も体温
の調節に四苦八苦!! 体調も変わりやすいので
衣服や掛物等で充分調節して下さい。

さて、いつも“なんれん”を拝見し皆さんの
活動の力強さに感動させて頂いております。

1つの手も皆で手をつなぐと大きな輪がで
きるように、力を合わせると道は開けていく
でしょう。訪問先で出逢う難病の方々、原因
が解らず症状の変化に不安で涙する方、病氣
と闘いながらも元気で^{***}輝いている方 etc. 皆さん
が病氣と闘いながらも“地域”で^{***}輝いて生活で
きるよう“なんれん”が更にパワーアップされる
ことを応援いたします。町には11人の保健婦
がおります。皆さんに気軽に声をかけてもら
えるよう私達も元気で頑張ります。

花火

活動資金作りのため

難病連の花火を 販売中です

ご協力をお願い致します。

ご注文は事務局まで



●夏休み花火特集●

みんなで遊べる楽しい花火

今年の夏の思い出づくり

●夏休み花火特集●

●夏休み花火特集●

みんなで遊べる楽しい花火

●夏休み花火特集●

今年の夏の思い出づくり

●夏休み花火特集●



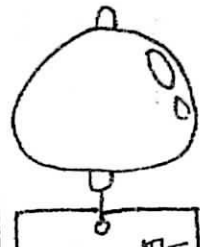
ジャンボセット 特価¥2,500



銀河セット 特価¥1,100



ちようちんセット 特価¥500



町内のオートバイ店
エー・シヨツ・ブ・勇・三にも置かせて
頂いていきます



音更町より40万円の補助金

4月に(財)北海道難病連音更支部が、税足してから町に40万円の補助金(内訳:結成大会、全道集会、支部運営)の要望を出しておりましたが、この度、6月の町議会において可決されました。音更町はじめ、関係者の皆様方のご理解をいただきましたことに、深く感謝致します。

7つのスローガン

- ☆国と道は、原因の究明と治療法の確立を急いで下さい!!
- ☆全ての難病の治療を公費負担にして下さい!!
- ☆介護手当の支給と通院交通費、付添費の補助を!!
- ☆患者、障害児者の教育の選択権を親と子に!!
- ☆医療過誤、薬害を無くし被害者救済を!!
- ☆北海道の総合的な難病対策の確立を一日も早く!!
- ☆広く道民と手を結び明るい福祉社会を実現させよう!!

あとかき

結成大会も無事終えることが
出き、ホッとしています。

今回は結成大会で、ごあいさつを
いただいた方の一部しか、載せら
れませんでした。ですが、次回には全員
の方を載せたいと思います。

今は、7月末に開催される北海道
難病連主催の全道集会（とうや）に
向けてと、花火の販売に取り組み中
です。私達の花火1ヶを買ってくだ
さる方々の気持を大切にしたいと
思います。

十勝の暑くて短かい夏を
気力で乗り切りましょう！

(こ)



北海道難病連団体一覽

1991.7現在

なんれん
は
赤い羽根

共同募金

の配分を受けています。

夏の洞爺湖でお会いしよう!!

団体名	代表者	事務局	電話
(個人参加難病患者の会) あすなろ会	石川 実	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-3233
再生不良性貧血患者と家族の会	佐藤 篤由	札幌市	
全国筋無力症友の会北海道支部	猪口 英武	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-3233
全国膠原病友の会北海道支部	小寺 千明	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-3233
全国心臓病の子供を守る会北海道支部	小田 隆	札幌市	
全国二分脊椎症児(者)を守る会北海道支部	星田 政子	札幌市	
全国パーキンソン病友の会北海道支部	鈴木 義一	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-0014
胆道閉鎖症の子供を守る会北海道支部	羽根 武夫	札幌市	
日本オストミー協会(人工肛門・膀胱)北海道	金田 正	札幌市	
日本てんかん協会(波の会)北海道支部	渡辺 勝	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	552-6690
日本リウマチ友の会北海道支部	重延 洋子	札幌市	
北海道肝炎友の会	佐藤 春男	札幌市	
北海道潰瘍性大腸炎・クローン病友の会	津田 良治	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-3233
筋ジストロフィー部会		札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-3233
北海道後縦靭帯骨化症友の会	東出 輝夫	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-3233
北海道小鳩会	三好 明子	札幌市	
北海道腎臓病患者連絡協議会	岩崎 薫	札幌市	
北海道スモンの会	斎藤 政興	札幌市	
北海道脊髄小脳変性症友の会	森下 正規	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-3233
北海道側彎症児を守る会	北側 秀俊	札幌市	
北海道低肺の会	福居 文悦	札幌市	
北海道バーチャ病友の会	中野 健治	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-3233
北海道ヘモフィリア(血友病)友の会	青木 一良	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-3233
北海道ベテレット病友の会	高野喜久治	札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	512-3233
未熟児網膜症から子供を守る会北海道支部	田中 静子	札幌市	

〈地域支部組織一覽〉

支部名	支部長	事務局長	事務局	電話
札幌支部	伊藤たてお		札幌市中央区南4条西10丁目難病センター内	011-512-3233
旭川支部	滝田 清市		旭川市	
函館支部	近江 忠	田中 正志	函館市	
十勝支部	江口美生男	荒尾みや子	帯広市	
釧路支部	上田 弘	田名部章子	釧路市	
室蘭支部	十河 勝彦	佐藤 利国	室蘭市	
北見支部	岡村 功	加藤 禎子	北見市	
南見支部	上戸 富雄	沢野 敏子	根室市	
根室支部	木村 猛雄		阿寒郡阿寒町16線29 社会福祉協議会内	0154-66-2121
阿寒支部	炭野 信好			
厚岸・浜中支部	田宮 滋子	山田 澄子	厚岸郡厚岸町	
標茶・弟子屈支部	阿部 正直	中島 幸子	川上郡標茶町	
中標津支部	河股 清太		標津郡中標津町	
早来支部	田岸 正直	成田 庄次	勇払郡早来町	
美瑛支部	伊藤 彰		上川郡美瑛町	
白老支部	菊地 豊治	畑瀬 幸雄	白老郡白老町	
音更支部	菅原 貞助	穀内さかえ	河東郡音更町	
岩見沢支部準備会	平山 岩雄	村田 信二	岩見沢市	
戸井支部準備会	島本 義久	吉田敬一郎	亀田郡戸井町	

HSK なんれん 臨時号

編集人/財団法人 北海道難病連 伊藤 たてお

昭和48年1月13日第三種郵便物認可

札幌市中央区南4条西10丁目 ☎011-512-3233

1991年7月10日発行HSK通巻231号(毎月1回10日発行)

FAX 512-4807

発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会 神原 義郎

月～金曜10時～18時、土曜10時～14時、日曜祝日は休み

札幌市北区北13条西1丁目